

## トトロの森 51 号地のコウモリ

早川直美

(トトロのふるさと基金 調査部会)

### 要旨

葛籠入湿地を含む樹林地で、日没後 30 分後から 30 分間ほどかけてバットディテクターで超音波の有無を記録した。2025 年 7 月から 9 月にかけて 4 回調査し、45kHz~50kHz で超音波が聞こえ、アブラコウモリ (*Pipistrellus abramus*) の生存が予想できた。

**キーワード：**バットディテクター；アブラコウモリ

### はじめに

トトロのふるさと基金調査部会では 2024 年 9 月にコウモリ研究家の大沢夕志氏と大沢啓子氏をお招きし『コウモリの世界』と題したコウモリに関する勉強会を開催していただいた。そこで、コウモリに関する楽しい講義とバットディテクターのレクチャーを受けた。トトロの森 51 号地では、7 月から 8 月にホタルカウント調査をする際、コウモリと思われる飛翔が確認されたため、バットディテクターを使ってコウモリの超音波の有無を記録した。

### 調査方法

調査地域は、トトロの森 51 号地である。早稲田大学所沢キャンパスから、トトロの森 64 号地の西側をトトロの森 51 号地の橋に下りる。橋を渡り、西側のいきものふれあいの里の観察路を、谷戸上部までゆっくり歩き往復した (図 1)。

調査は、コース上の 8 カ所で (図 1)、ヘテロダイナミック方式のナリカ超音波受信機 (バットディテクター) 1 台を用いてコウモリが発する超音波が検知できるかを記録した。

調査日は、2025 年 7 月 14 日、8 月 9 日、8 月 29 日、9 月 14 日で、日没後 30 分ほどから開始し 30 分間ほどかけて歩いた。

調査協力者 (敬称略五十音順) 早川直美、早川泰文

### 結果と考察

図 1 の①の早稲田大学駐車場から樹林地方向と、②③④51 号地観察路から谷戸に向かう方向で 45kHz~50kHz の超音波が確認できた。逆に、同じポイントでも樹林方向からは聞こえなかった。(表 1) 超音波の波長から、アブラコウモリ (*Pipistrellus abramus*) と考えられるが、8 月 29 日に飛翔を 1 頭目視したのみで、種の確認はできていない。アブラコウモリは、県内のいたるところ本種の発見できないところがないほどなじみの深いコウモリ (鈴木 1978) とあり、重昆氏の「狭山丘陵の哺乳類」でも、最も多く確認されている種のひとつ (重昆 2011) とある。

谷戸の上空は、空間が広く、また、コウモリ類の餌がいるなど飛翔する要因が多い。しかし、

樹林地内も樹木で超音波が遮られている可能性が高く、コウモリ不在とはいえないと考える。

### 参考文献

鈴木欣司 (1978) 埼玉の哺乳類. 埼玉県動物誌:31-44 埼玉県教育委員会

重昆達也 (2011) 狭山丘陵の哺乳類. トトロのふるさと財団自然環境調査報告書 8:20-72

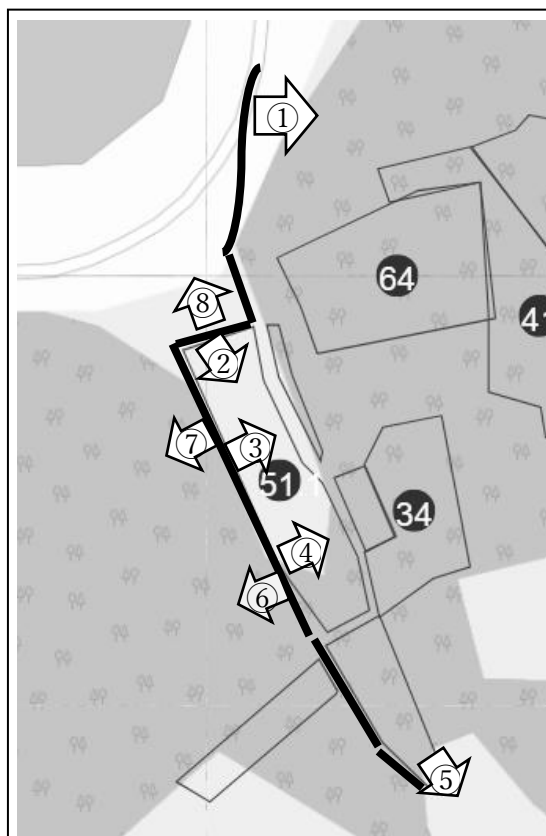


図 1 定期ルートとチェックポイント

表 1 超音波の確認記録

月日	7月14日	8月9日	8月29日		9月14日
開始時刻	19:45~	19:45~	18:40~		18:50~
地点	KHz	KHz	KHz	飛翔	KHz
①	50 ○	50 ○	45 ○		50 ○
②	45 ○	50 ○	50 ○	1	45 ○
③	45 ○	50 ○	45 ○		45 ○
④	45 ○	45 ○	45 ○		45 ○
⑤	×	×	×		×
⑥	×	×	×		×
⑦	×	×	×		×
⑧	×	×	×		×

○超音波が聞こえた

×聞こえなかった